

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	地域のつながり課長 曾根 健治		
市民-01	実施事業	自治会・町内会等支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	地域のつながり課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治	

1 事業の目的

対象	自治会・町内会等
意図	地域住民が自ら問題を解決し、まちづくりに主体的に取り組めるようにするため
効果	自治会・町内会等の主体的な活動によるまちづくりが行える

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

自治会・町内会が地区ごとに組織する連合会等の事業及び所有する公会堂等の建築改良工事にに対し、補助金を交付した。 地域住民の福祉の増進に貢献するとともに、当該団体の育成に尽力した自治町内会長及び役員を表彰した。 地域住民の活動拠点として公会堂等を借地または借家する場合における自治会・町内会等に対し、補助金を交付した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	147,349人		145,454人		142,165人			
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	7,661	12,250		当初予算(千円)	20,204		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	2,405	2511		その他	11		
	一般財源	5,256	9,739		一般財源	20,193		
	人員配置数	2.5	2.5		人員配置数	2.5		
事業経費運営	人件費(千円)	20,170	19,690		人件費(千円)	19,637		
	総事業費(千円)	27,831	31,940		総事業費(千円)	39,841		
	市民1人当りの経費(円)	158	181		市民1人当りの経費(円)	226		
	対象者1人当りの経費(円)	189	220		対象者1人当りの経費(円)	280		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 自治会・町内会等

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	自治会・町内会等が所有する公会堂等は老朽化が進んでおり、建替えや修繕の要望は今後も増加傾向が見込まれるが、緊急性等を考慮しながら、補助事業を継続していく。また、コミュニティセンター助成制度の活用や、平成30年度から開始した自治会・町内会が公会堂等の用地として有償で借りている土地・建物の賃借料の補助事業を継続していく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する					

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町内会は、防犯、福祉など様々な分野で市民生活の向上に寄与しているため、今後も引き続き支援を続けていく必要がある。</li> <li>さらに地域コミュニティの活性化を進めるため、地域の自立した活動を支援していく。</li> </ul>
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公会堂等の建築改良工事は、特に修繕等の要望が多くなっているが、予算の範囲で補助を行っているため、修繕等を先送りにしてもらうことがある。</li> <li>・民間等から有償で土地や建物を賃借している自治会・町内会もあり、活動の負担となっている。</li> <li>・自治会・町内会が抱えている課題が多様化しており、解決に向けた対応が求められている。</li> </ul>	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会館等の用地として有償で借りている土地・建物の賃借料の補助制度を開始した。</li> <li>・自治会・町内会の運営のポイントや他地区の先進事例の紹介、必要な手続きなど役に立つ情報を掲載したハンドブックを市民活動団体との協働事業で作成した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	老朽化した公会堂等の建替えはあるが、新たな建設がほとんどないため、地域の活動拠点の増加につなげない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	公会堂等建築改良工事補助割合及び上限額(円)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	50%	50%	50%	60%	補助制度なし				
	10,000,000	10,000,000	12,000,000	10,000,000					
比較事項	公会堂等建築改良工事件数(新築・建替え)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	0件	0件	1件	0件					
比較事項	公会堂等建築改良工事件数(修繕・増改築)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	16件	15件	3件	6件					
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	公会堂等の建築改良工事については、補助割合及び上限額において近隣市と概ね均衡がとれている。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	自治会・町内会加入率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
自治会・町内会は、地域コミュニティの基礎的団体で支援の主要な対象であるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
	実績値	83.2%	83.1%	83.5%	83.3%	82.5%	
	達成率	97.9%	97.8%	98.2%	98.0%	97.1%	
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	自治会・町内会は防災・防犯、福祉など様々な分野で市民生活の向上に寄与しているため、加入率が高いほど地域の合意形成が図れることから、より一層加入率を高める必要がある。						